

金城学院大学生生活協同組合

2025年度 通常総代会 議案書

第1号議案	2024年度事業報告書及び決算関係書類承認の件	p. 2
第2号議案	2025年事業計画及び予算決定の件	p. 31
第3号議案	監事監査規則一部改正の件	p. 38
第4号議案	役員報酬決定の件	p. 39
	役員改選の件	p. 39

[日時] 2025年5月27日（火）17:00～18:00

[会場] 金城学院大学

N1棟1階 リリーノースホール

金城学院大学生生活協同組合

2025年度通常総代会議案書 目次

第1号議案	2024年度事業報告書及び決算関係書類承認の件・・・	2～30
	(1)2024年度事業報告書	・・・3～10
	(2)2024年度事業報告書の附属明細書	・・・11～12
	(3)2024年度決算関係書類	・・・13～14
	(4)剰余金処分案	・・・15
	(5)2024年度個別注記	・・・16～20
	(6)2024年度決算関係書類の附属明細書	・・・21～28
	(7)会計士による会計指導書	・・・29
	(8)監査報告書	・・・30
第2号議案	2025年度事業計画及び予算決定の件	・・・31～37
第3号議案	監事監査規則一部改正の件	・・・38
第4号議案	役員報酬決定の件	・・・39
役員改選の件		・・・39

第1号議案

2024 年度事業報告書及び決算関係書類承認の件

※本議案について、本旨に反しない範囲での字句の修正を理事会に一任願います。

第1号議案 2024年度事業報告書及び決算関係書類承認の件

I 2024年度 事業報告書

2024年3月1日から2025年2月28日まで

愛知県名古屋市守山区大森2-1723
金城学院大学生生活協同組合
理事長 楚輪 松人

1 組合の事業活動の概況に関する事項

(1) 事業年度の末日における主要な事業活動

事 業 種 目		主 な 事 業 品 目 等
供 給 及 び 利 用 事 業	物品	書籍、文具、教育機器、衣料品、電気製品、家具、その他組合員の日常生活に必要な物資を供給する事業。
	サービス提供	国内・海外旅行等の旅行業務を取り扱う事業。 その他日常生活に必要なサービスを提供する事業。
		組合員に食事を提供する事業。
そ の 他		組合員のための生命共済、火災共済の業務受託事業。

(2) 事業の経過及びその結果並びに対処すべき重要な課題

1 事業の経過及びその成果

(1) (方針の基調：中期計画2年目でめざすもの

- ①事業剰余での収支均衡（若干の黒字）を実現します。
- ②組織基盤を強化したすけあいの輪を広げ、生協への組合員への参加を広げます。
- ③各学部の学びに適したデバイスの提供と生協らしい学び合うパソコン講座を中心に、大学へのICT教育へのサポートを強化します。
- ④食堂パスホルダーの増加を軸に食堂・購買の昼食シェアの拡大を図ります。

(2) 経済および事業環境

- ・2024年度の新入生がさらに大きく減少（定員比約200人減少）しました。
- ・食材・食品、物流費用の高騰が引き続き続いています。また、大学生協事業連合の経営再建、新システム移行に伴う費用負担が増えています。
- ・2025年度入学者からノートパソコンの必携化が始まることになりました。

(3) 事業の状況

- ・2024年度新入生の生協加入は990名となりました。加入率は97%を超えましたが、2023年度から81名減少しました。共済の加入者は673名となり、こちらも91人減少しています。
- ・施設改修準備金を活用し、リリーショップの改装とリリーノースのレジカウンターの改修を行いました。
- ・ショップは、前年は伸長しましたが、情報機器、自動車学校、電子書籍が前年伸長したものの予算割れ、文具、レンタル衣装、書籍が前年・予算共に割れる結果となりました。
- ・食堂は2店舗とも好調です。1日あたりの客数が1,000名を超える日のが当たり前になりつつあります。
- ・特にリリーウエストは客数で前年比23.7%伸長しました。入学者が減少する中で西側地区の学内人口が増えているのが要因です。
- ・2024年度の総供給高は4億8,575万円となり、予算を132万円、前年を1,912万円上回る結果となりました。

(4) 業績

- ・供給高：485,757千円（予算差+1,327千円）
- ・事業総剰余：108,765千円（予算差△3,454千円）※共済手数料の減少、パソコンの残在庫処分

による供給剰余の減少

- ・人件費：61,100千円（予算差+790千円）※定時職員給与をほぼ予算並み。正規職員の残業代増加。
- ・物件費：56,665千円（予算差+2,283千円）※リリーショップ・リリーノース改装費用など。
- ・事業剰余金：△9,001千円（予算比△6,527千円）
- ・税引前当期剰余金：5,449千円（予算比△5,976千円）／当期剰余：△5,632千円

2 対処すべき重要な課題

- ①入学定員の割れにより、今後の大きな供給増加が見込めない中、一人当たり利用高の増加と経費のコントロールを強化し収益構造の改善をすすめます。
- ②組織基盤を強化したすけあいの輪を広げ、生協への組合員への参加を広げます。
- ③学部改組・カリキュラム改革の情報収集を進め、金城生の学びにふさわしい事業提案を行います。
- ④食堂パスホルダーの増加を軸に食堂・購買の昼食シェアの拡大を図ります。

① 直前3事業年度の財産及び損益の状況

（単位：円）

	21年度	22年度	23年度	本年度
(1) 組合員数（人）	4,970	4,923	4,862	4,869
(2) 出資金額	96,710,000	95,305,000	94,115,000	94,130,000
(3) 供給高	387,645,261	447,232,924	466,629,736	485,756,729
(4) 共済受託手数料収入	5,934,265	7,279,172	9,203,455	8,740,934
(5) 供給事業手数料収入	0	9,182	69,901	117,880
(6) その他手数料収入	17,315,529	14,169,716	13,901,245	12,329,306
(7) 経常剰余金	△ 5,998,621	△ 17,861,588	454,981	△ 5,449,036
(8) 総資産	242,740,613	322,202,522	283,343,191	272,530,802
(9) 純資産	102,379,876	125,604,492	122,224,052	116,607,515

② 供給事業の状況表

（i）部門別・業態別供給高の状況

（単位：円）

供給分類項目	21年度	22年度	23年度	本年度
①物販部門	167,176,171	199,835,580	171,003,552	172,563,889
②サービス部門	120,349,451	108,055,367	138,408,831	137,452,609
③書籍部門	78,400,727	88,546,758	82,219,159	88,689,216
④食堂部門	21,733,630	50,905,410	75,002,754	87,055,810
現金過不足	△ 14,718	△ 110,191	△ 4,560	△ 4,795
供給高合計	387,645,261	447,232,924	466,629,736	485,756,729
業態別供給高(店舗)	387,645,261	447,232,924	466,629,736	485,756,729
供給値引き	△ 7,850,694	△ 7,452,386	△ 6,451,380	△ 7,904,073

（ii）事業所別供給高状況

（単位：円）

店舗の名称	21年度	22年度	23年度	本年度
金城リリーショップ	365,310,259	395,489,418	394,484,840	400,856,984
金城リリーノース	22,335,002	33,418,304	41,826,117	47,086,499
金城リリーウエスト	0	18,325,202	30,318,779	37,813,246
合 計	387,645,261	447,232,924	466,629,736	485,756,729

③ 受託共済事業の状況表

(i) 加入者数の状況

(単位：件)

共済事業の種類		加入者数（または契約件数）		
	元受団体名	本年度	前年度	前年比(%)
学生総合共済 （生命共済）	コープ共済連	2,979	2,959	0.7
学生総合共済 （火災共済）		0	0	
合 計		2,979	2,959	0.7

(ii) 元受団体共済掛金及び共済金支払の状況

(単位：千円、件)

共済事業の種類		元受団体共済掛金			共済金支払件数			共済金支払額		
	元受団体名	本年度	前年度	前年比	本年度	前年度	前年比	本年度	前年度	前年比
学生総合共済 (生命共済)	コープ共済連	37,754	42,609	-11.4	165	434	-62.0	9,768	13,780	-29.1
学生総合共済 (火災共済)			0			0			0	
合 計		37,754	42,609	-11.4	165	434	-62.0	9,768	13,780	-29.1

※「コープ共済連」は日本コープ共済生活協同組合連合会の略称です。

(3) 該当事業年度における重要な事項

1 増資および資金の借入その他の資金調達の状況

該当する事項はありません。

2 組合が所有する施設の建設または改修その他の設備投資状況

該当する事項はありません。

(4) 他の法人との業務上の提携

業務提携先	所在地・内容	内容	契約等の特記
大学生協事業連合	東京都杉並区和田3-30-22	業務委託	継続

(5) 他の会社を子法人等及び関連法人等とすることとなる場合における当該他の会社の株式又は持分の取得

該当する事項はありません。

(6) 事業の全部又は一部の譲渡又は譲受け、合併その他の素子区の再編成

該当する事項はありません。

(7) 教育事業等の状況

(単位：円)

項目	金額
当期に繰り越された教育事業等繰越金	0

教育事業等の使途

項目		金額
教育文化費	機関紙等発行、新入生歓迎企画、生協案内、文化企画 その他生協広報物	549,906
広報費	生協加入案内、店舗商品利用案内、店舗企画	5,900,329
調査研究費	書籍等購入・購読料	184,287
研修採用費	職員研修、セミナー参加費用	1,224,691
会議費	機関会議・総（代）会・理事会・連合会等会議出席などの費用	111,617
合 計		7,970,830

2 組合の運営組織の状況に関する事項

（１）前事業年度における総代会の開催状況

総代会開催日		2024年5月28日（火）
総代会日現在総代数		121 名
出席代議員数	本人	2 名
	代理人(委任)	0 名
	書面	71 名
	計	73 名
議決状況		
第一号議案	2023年度事業報告書及び決算関係書類承認の件	賛成多数で承認
第二号議案	2024年度事業計画及び予算決定の件	賛成多数で承認
第三号議案	役員報酬決定の件	賛成多数で承認
	役員選挙の件	全員信任

(注)総代選挙は、総代選挙規約にもとづいておこなわれ、140人の定数に対して、121人が立候補し、選挙の結果2024年4月24日当選人が公告されました。

（２）組合員に関する事項

組合員出資金等増減表 1口： 5000 円 (単位：円)

区分	人員	口数	組合員出資金総額	一人当組合員出資金額
期首現在	4,862	18,823	94,115,000	19,357
当期増加分	1,058	4,129	20,645,000	19,513
当期減少分	1,051	4,126	20,630,000	19,629
期末現在	4,869	18,826	94,130,000	19,333

（３）役員に関する事項

① 役員一覧表

役 名	氏 名	担 当	現職就任 年月	兼職等特記
理事長（代表理事）	楚輪 松人		2003.05	大学生協連奨学財団 理事
専務理事（代表理事）	外村 順一	業務執行統括	2022.05	中京大学生協 監事
理事	水谷 秀樹		2007.05	
理事	朴 相俊		2012.05	

理事	長谷川 元洋		2013. 05	
理事	日高 英登		2014. 05	
理事	平田 なつひ		2015. 05	
理事	橋川 健祐		2020. 06	
理事	奥泉 佳代子		2020. 06	
理事	阿部 恵子		2023. 05	
理事	亀山 祥華		2023. 05	
理事	小寺 結依菜		2024. 05	
理事	村瀬 千夏		2024. 05	
理事	森 佳奈		2024. 05	
理事	横井 春乃	学生委員長	2024. 05	
監事	高橋 和文		2023. 05	
監事	田中 宏樹		2024. 05	
監事(員外監事)	清水 友彦		2024. 05	愛知大学生協 専務理事

② 辞任した役員

該当する事項はありません。

③ 役員賠償責任保険契約

当生協が2023年12月の理事会決議にて加入した役員賠償責任保険契約の内容の概要は以下のとおり。

①保険名称：日本生協連の生協役員賠償責任保険（経営リスク保険）

②保険契約者：日本生活協同組合連合会

③保険期間：2023年4月1日～2024年4月1日

④被保険者の範囲：当生協のすべての理事および監事

⑤保険契約の内容の概要

被保険者が役員としての業務につき行った行為（不作為を含む）に起因して損害賠償請求がなされたことにより、被保険者が被る損害賠償金や争訟費用等を補償するもの。

ただし、贈収賄などの犯罪行為や意図的に違法行為を行った役員自身の損害等は補償対象外とすることにより、役員等の職務の執行の適正性が損なわれないようにするための措置を講じている。

保険料は全額当生協が負担する。

（４）職員数およびその増減その他の職員の状況

職員状況表

区 分		前期末数	当期末数	平均年齢	平均勤続
正規職員		2 人	2 人	44.5	11.2年
定時職員	総 数	44 人	45 人		
	正規換算数	14.6 人	13.4 人		

注1）定時職員の総人数は、年間1,950時間をもって1名と換算しています。

注2）出向受入者は1名です。

（５）業務の運営の組織に関する事項

① 運営組織図



事業内容	(4) 会員、会員の組合員及び役職員並びにこの会の役職員の組合事業に関する知識の向上を図るために必要な教育を行い、及び情報を提供する事業 (5) 会員の組合員のための宅地建物取引業法に基づく宅地建物取引業に関する事業 (6) 会員の組合員のための旅行業法に基づく旅行業に関する事業 (7) 会員の組合員のための古物営業法に基づく古物営業に関する事業 (8) 会員の利用に供する計算、運搬に関する事業 (9) 会員の事業の支援、連絡並びに調整に関する事業 (10) 前各号の事業に附随する事業
設立の理由	協同互助の精神に基づき、全国大学生生活協同組合連合会と提携し大学生生活協同組合の協同事業の中心として事業活動ならびに各種活動を行って会員事業の発展をはかり会員組合員の生活の経済的文化的向上をはかることを目的として設立されました。
出資金及び総口数	出資金 4,871,140 千円 総口数 487,114 口
当組合の出資額及び口数	出資金15,920,000千円 総口数1,592口
決算月日	2025年2月28日
主な出資生協	全国大学生生活協同組合連合会 800,000千円 東京大学消費生活協同組合 183,080千円 立命館生活協同組合 158,190千円 京都大学生生活協同組合 140,310千円 東北大学生生活協同組合 136,660千円 その他184大学生生活協同組合 3,452,900千円

② 事業連合の決算概況

(単位：円)

資産・負債・純資産の状況		
法 人 名	生活協同組合連合会大学生協事業連合	
科 目 / 決 算 期	2025年2月28日 (58期)	
資産の部	流動資産	30,637,534
	固定資産	8,001,321
	資産合計	38,638,855
負債の部	流動負債	34,282,803
	固定負債	1,823,939
	負債合計	36,106,743
純資産の部	出資金	4,871,140
	損失金	2,339,027
	評価・換算差額等	—
	純資産合計	2,532,112
負債及び純資産合計		38,638,855

(注) 上記貸借対照表は、当事業報告書作成時点では大学生協事業連合は総会の議決を経ていませんので確定していませんが、事業連合代表理事から示された決算関係書類に基づいて記載しています

③ 事業連合の損益状況 (決算期：2025年2月28日)

(単位：円)

損益の状況	
科 目 / 決 算 期	2022年3月1日～2023年2月28日

供	給	高		91,351,532				
供	給	剰	余	金	2,102,603			
事	業	剰	余	金	315,690			
経	常	剰	余	金	421,656			
当	期	剰	余	金	394,432			
当	期	未	処	理	損	失	金	2,339,027

(注) 上記損益計算書は、当事業報告書作成時点では大学生協事業連合は総会の議決を経ていませんので確定しておりませんが、事業連合代表理事から示された決算関係書類に基づいて記載しています

④ 事業連合との取引等の状況

(単位：円)

区分	経常収益	経常費用		その他取引
	供給高	仕入高	その他	費用
生活協同組合連合会 大学生協事業連合		359,693,268	9,798,000	22,983,249

(9) その他組合の運営組織の状況に関する重要な事項

2023年12月の理事会で、「内部統制整備に関する基本方針」を議決しました。その内容は次のとおりです。

金城学院大学生協の「内部統制の整備に関する基本方針」

金城学院大学生協は、組合員と大学の負託に応え、「金城学院大学中期計画」に記載された「生協の4つのビジョン」を達成するために事業・活動を行います。この前提として、当生協は「業務の有効性及び効率性」「財務報告の信頼性」「事業活動に関わる法令等の遵守」「資産の保全」の4つの目的を達成するために必要な内部統制の整備に関する基本方針（以下「基本方針」）を次のとおり定めます。

- 1 理事・委員及び職員の職務の執行が、法令・定款などに適合することを確保します
- 2 理事・委員及び職員の職務執行に関わる情報の保存及び管理を適正に行います
- 3 損失の危険の管理を行います
- 4 財務報告を適正に作成します
- 5 理事・委員及び職員の職務の執行が効率的に行われるようにします
- 6 監事監査がいっそう有効に行われるための環境を整備します

3 その他組合の状況に関する重要な事項

該当する事項はありません。

Ⅱ 事業報告書の附属明細書

1 役員報酬等の状況

役員報酬明細

(単位：円)

区分	定款上の定員	支払人員	報酬等支払額	摘要
理 事	12人～17人	1 人	7,689,100	報酬限度額9,000千円
監 事	2人～3人	0 人	0	
合 計		1 人	7,689,100	

2 役員その他の法人等における兼職の状況

区分	常勤・非常勤	代表権の有無	氏 名	兼職先名	兼務先での役職名
理事	非常勤	有	楚輪 松人	全国大学生協連奨学財団	理事
理事	常勤	有	外村 順一	中京大学生協	監事
監事	非常勤	無	清水 友彦	愛知大学生協	専務理事

3 組合と役員との間の利益が相反する取引の明細

該当する事項はありません。

4 事業連合に関する事項

(1) 事業連合に対する債権・債務明細書

① 債権明細書

(単位：円)

内 訳	短 期 債 権		
	期首残高	期末残高	当期増減額
事 業 連 合 前 渡 金	117,613,287	64,914,367	△ 52,698,920
事 業 連 合 未 収 金	30,887,061	32,238,849	1,351,788
合 計	148,500,348	97,153,216	△ 51,347,132

② 債務明細書

(単位：円)

内 訳	短 期 債 務		
	期首残高	期末残高	当期増減額
買 掛 金 (大学生協事業連合)	21,708,430	14,683,585	△ 7,024,845
短期借入金 (大学生協事業連合)	0	0	0
未 払 金 (大学生協事業連合)	144,354	519,365	375,011
合 計	21,852,784	15,202,950	△ 6,649,834

5 その他事業報告書の内容を補足する重要な事項

該当する事項はありません。

Ⅲ 決算関係書類

I 貸借対照表

貸 借 対 照 表

2025年 2月 28日 現在

金城学院大学生生活協同組合

(単位：円)

科目	金額	科目	金額
(資産の部)		(負債の部)	
流動資産	246,077,919	流動負債	143,664,642
現金預金	99,360,414	買掛金	20,831,717
供給未収金	37,163,837	未払法人税等	182,500
商品及び原材料	36,049,309	未払消費税等	2,129,300
貯蔵品	7,500	未払費用	4,421,255
前渡金	64,914,367	前受金	78,760,077
立替金	27,760	預り金	26,596,238
未収金	9,518,132	賞与引当金	598,330
貸倒引当金（短期）	△ 963,400	ポイント引当金	585,225
固定資産	26,452,883	仮受金	9,560,000
有形固定資産	3,810,683	固定負債	12,258,645
建物及び附属設備	1,829,213	退職給付引当金	1,594,000
同減価償却累計額	△ 897,192	役員退職給与引当金	10,664,645
	932,021	負債合計	155,923,287
機械装置	5,012,500	(純資産の部)	
同減価償却累計額	△ 5,012,494	組合員資本	116,607,515
	6	出資金	94,130,000
器具備品	14,883,977	剰余金	22,477,515
同減価償却累計額	△ 12,005,321	法定準備金	19,230,000
	2,878,656	任意積立金	3,800,000
無形固定資産	137,200	施設改修準備金	3,800,000
電話加入権	137,200	当期末処理損失金	552,485
その他固定資産	22,505,000	(うち当期損失金)	(5,631,537)
関係団体出資金	18,955,000		
差入保証金	3,550,000		
		純資産合計	116,607,515
資産合計	272,530,802	負債・純資産合計	272,530,802

II

損益計算書

損益計算書

自 2024年 3月 1日 至 2025年 2月 28日

金城学院大学生活協同組合

(単位：円)

科 目	金	額
供給事業		
供給高	485,756,729	
供給値引	7,904,073	477,852,656
供給原価		
期首商品棚卸高	58,515,835	
仕入高	367,809,648	
期末商品棚卸高	36,049,309	390,276,174
供給剰余金		87,576,482
その他事業収入		
共済受託手数料収入	8,740,934	
供給事業手数料収入	117,880	
その他手数料収入	12,329,306	21,188,120
事業総剰余金		108,764,602
事業経費		
人件費	61,100,268	
物件費	56,665,231	117,765,499
事業損失金		9,000,897
事業外収益		
受取利息	89,666	
受取配当金	3,194	
雑収入	133,493	
出資金整理益	3,560,000	3,786,353
事業外費用		
雑損失	234,492	234,492
経常損失金		5,449,036
特別損失		
固定資産除却損	1	1
税引前当期損失金		5,449,037
法人税等		182,500
当期損失金		5,631,537
当期首繰越剰余金		79,052
目的積立金取崩額		5,000,000
当期末処理損失金		552,485

剰余金処分案

金城学院大学生生活協同組合

(単位:円)

項 目	金 額
I 当期末処理損失金	552,485
II 任意積立金取崩額	
1 施設改修準備金	600,000
	<u>600,000</u>
III 次期繰越剰余金	<u><u>47,515</u></u>

本議案について、本旨に反しない範囲での字句の修正を理事会に一任します。

1. 重要な会計方針にかかる事項に関する注記

(1) 資産の評価基準及び評価方法は以下のとおりです。

① 有価証券の評価基準及び評価方法

移動平均法による原価法

② 棚卸資産の評価基準および評価方法

書籍・購買（商品） 売価還元法による原価法（貸借対照表価額は収益性の低下にもとづく簿価切り下げの方法により算定）

食堂（食材） 最終仕入原価法による原価法（ 〃 ）

(2) 固定資産の減価償却の方法は以下のとおりです。

① 有形固定資産（リース資産を除く）

定率法。

2016年4月1日以降取得した建物及び附属設備並びに構築物は定額法を採用しています。なお、主な耐用年数は以下のとおりです。

建物及び付属設備 10年～15年

機械装置 8年～9年

器具備品 5年～8年

(3) 引当金の計上基準は以下のとおりです。

① 貸倒引当金

債権の貸倒損失に備えるため、法人税法に基づく繰入限度額相当額を計上しています。

② 賞与引当金

職員に対して支給する賞与の支出に備えるため、支給見込による当期負担額を計上しています。

③ ポイント引当金

供給促進をはかるために、生協電子マネーシステムにて付与したポイントの期末における未使用残高を計上しています。

④ 退職給付引当金

「8. 退職給付に関する注記」に記載しています。出向職員は、出向元の生活協同組合大学生協事業連合で引当をしています。

⑤ 役員退職給与引当金

役員の退職金の支給に備えるため、退職金規定による期末要支給額相当額を計上しています。

(4) 収益及び費用の計上基準

収益の主な内訳は、供給高、その他事業収入です。供給高は、組合員に対する商品またはサービスの引き渡し時点で計上しています。その他事業収入は、組合員に対する役務提供完了時点で収益を計上しています。

(5) その他決算関係書類の作成のための基本となる重要な事項は以下のとおりです。

消費税等の会計処理

消費税等の会計処理は税抜方式を採用しています。

2. 会計方針の変更に関する注記

該当する事項はありません。

3. 表示方法の変更に関する注記

該当する事項はありません。

4. 誤謬の訂正に関する注記

該当する事項はありません。

5. 貸借対照表に関する注記

(1) 担保に供している資産及び担保に係る債務

該当する事項はありません。

(2) 役員に対する金銭債権または金銭債務

「1 1. 関連当事者との取引に関する注記」にて記載しています。

(3) 大学生協事業連合に対する金銭債権または債務

「1 1. 関連当事者との取引に関する注記」にて記載しています。

6. 損益計算書に関する注記

(1) 大学生協事業連合との取引高

「1 1. 関連当事者との取引に関する注記」にて記載しています。

(2) 法人税等には、住民税が含まれています。

7. 剰余金処分案に関する注記

(1) 任意積立金取崩は損失てん補です。

8. 退職給付会計に関する注記

(1) 退職給付債務の計上基準

職員の退職給付に備えるため、当事業年度末における退職給付債務（簡便法による期末自己都合退職要支給額を採用）及び年金資産の見込み額をもとに計算した金額を退職給付引当金として計上しています。

（２） 採用する退職給付制度

職員の退職により支給する退職給付にあてるため退職一時金制度を採用しています。

（３） 企業年金基金制度について

この他に日生協企業年金基金に加入していますが、複数の事業主により設立された企業年金である総合設立型基金のため退職給付債務等は計上していません。なお、要拠出額を退職給付費用として処理している複数事業主制度に関する事項は次のとおりです。

i) 要拠出額を費用として処理している複数事業主制度に関する事項

年金資産の額（２０２５年２月末日） 47,703,229,482 円

年金財政計算上の数理債務の額 34,777,008,000 円

差引額 12,926,221,482 円

ii) 制度全体に占める当連合の掛け金拠出割合（加入者割合）

加入者総数（２０２５年２月末日） 49,322 人

金城学院大学生協加入者数（２０２５年２月末日） 4 人

制度全体に占める加入者数割合 0.008%

iii) 補足説明

ア) 基準日時点の数理債務は年金時価資産額の基準日まで増加し、差引額は減少するものと予想されます。

イ) ２０２３年度の繰越剰余金は 12,569,270,479 円です。

ウ) 過去勤務債務残高はありません。

9. 税効果会計に関する注記

（１） 繰延税金資産の発生の原因別の内訳

賞与引当金繰入額否認	127,444 円
一括償却資産損金算入限度超過額	219,978 円
退職給与引当金	339,522 円
役員退職給与引当金	2,271,569 円
ポイント引当金	124,653 円
税務上の繰越欠損金	1,163,540 円
繰延税金資産の計算上生じた端数処理	0 円
繰延税金資産小計	4,246,706 円
評価性引当額	-4,246,706 円
繰延税金資産合計	0 円

10. リースによる使用する固定資産に関する注記

- (1) リース物件の所有権が借主に移転するもの以外のファイナンス・リース取引（リース契約1件当たりのリース料総額が300万円以下のファイナンス・リース取引を除きます）については通常の賃貸借取引に係る方法に準じた会計処理によっています。

11. 金融商品に関する注記

- (1) 金融商品の状況に関する事項

資産について投機的な運用等を行っていません。

また資金の調達において投機的な取引を行っていません。

- (2) 金融商品の時価等に関する事項

関係団体出資金等の金融商品については帳簿価額を時価とみなすもの、帳簿価額と時価との差額に重要性がないものおよび時価を把握することが極めて困難なものとなっており2025年2月28日現在、貸借対照表計上額と時価に大きな乖離のあるものはありません。

12. 関連当事者との取引に関する注記

- (1) 会社等

該当する事項はありません。

- (2) 組合

種類：関連法人（重要な影響を与える連合会）

法人等の名称：生活協同組合大学生協事業連合

所在地：東京都杉並区和田3丁目30番22号

資本金又は出資金：4,871,140,000円

事業の内容：商品の開発・卸売

議決権等の所有（被所有）割合：直接0.5%

関連当事者との関係：仕入先

取引の内容：商品仕入 359,693,268円 業務委託 9,798,000円

[科目]	[期末残高]
供給未収金	32,148,547円
未収金	110,302円
関係団体出資金	15,920,000円
買掛金	14,683,585円
未払費用	519,365円
前渡金	64,914,367円

（取引条件および取引条件の決定方針等）

商品の仕入については、市場の実勢価格を勘案して価格を決定しています。なお、

上記金額のうち、取引金額については消費税等が含まれていませんが、期末残高には含まれています。

- (3) 役員およびその近親者
該当する事項はありません。

- 1 3. 重要な後発事象に関する注記
該当する事項はありません。

- 1 4. その他の注記
該当する事項はありません。

Ⅳ 決算関係書類の附属明細書

1 組合員資本の状況

組合員資本の明細

(単位:円)

区分		期首残高	当期増加額	当期減少額	期末残高
出資金		94,115,000	20,645,000	20,630,000	94,130,000
法定準備金		19,230,000	0	0	19,230,000
任意積立金	任意積立金小計	9,400,000	0	5,600,000	3,800,000
	施設改修準備金	9,400,000	0	5,600,000	3,800,000
当期末処分剰余金		△ 520,948	0	31,537	△ 552,485
純資産合計		122,224,052	20,645,000	26,261,537	116,607,515

2 借入金の明細

該当する事項はありません。

3 有形固定資産及び無形固定資産の明細

有形固定資産及び無形固定資産の明細

(単位:円)

区分	資産の種類	期首 帳簿価額	当期 増加額	当期 減少額	当期 償却額	期末 帳簿価額	減価償却 累計額	期末 取得原価
有形 固定 資産	建物					0		
	建物付属設備	1,055,733			123,712	932,021	897,192	1,829,213
	構築物					0		
	機械装置	6				6	5,012,494	5,012,500
	車両運搬具					0		
	器具備品	1,867,086	2,905,977	1	1,894,406	2,878,656	12,005,321	14,883,977
	土地					0		
	計	2,922,825	2,905,977	1	2,018,118	3,810,683	17,915,007	21,725,690
無形 固定 資産	電話加入権	137,200				137,200		
	差入保証金	3,550,000				3,550,000		
	計	3,687,200	0	0	0	3,687,200		

(注) 主な増減の内容は以下のとおりです。

リリーショップカウンター入れ替え

リリーノースレジカウンター増設

4 関係団体出資金等の明細

(単位:円)

出資先	期首残高	当期増加額	当期減少額	期末残高	備考
生活協同組合連合会大学生協事業連合	9,170,000	6,750,000	0	15,920,000	
全国大学生生活協同組合連合会	2,835,000	0	0	2,835,000	
愛知県生活協同組合連合会	100,000	0	0	100,000	
日本コープ共済生活協同組合連合会	100,000	0	0	100,000	
合 計	12,205,000	6,750,000	0	18,955,000	

5 引当金の明細

(単位:円)

科 目	期首残高	当期増加額	当期減少額	期末残高
貸倒引当金（短期）	1,420,300	963,400	1,420,300	963,400
ポイント引当金	587,708	585,225	587,708	585,225
賞与引当金	476,125	818,330	696,125	598,330
退職給付引当金	1,655,000	943,000	1,004,000	1,594,000
役員退職給与引当金	10,340,345	324,300	0	10,664,645
合 計	14,479,478	3,634,255	3,708,133	14,405,600

6 事業経費の明細

自 2024年 3月 1日 至 2025年 2月 28日

金城学院大学生生活協同組合

(単位：円)

科 目	金 額
1. 人件費	
役員報酬	7,689,100
職員給与	9,329,367
定時職員給与	37,551,307
退職給付費用	349,000
法定福利費	4,125,395
厚生費	1,118,469
役員退職給与引当金繰入額	324,300
賞与引当金繰入額	598,330
派遣人件費	15,000
人件費合計	61,100,268
2. 物件費	
教育文化費	549,906
広報費	5,900,329
消耗品費	6,675,546
物流費	2,451,068
車両運搬費	169,943
貸倒引当金繰入額	△ 456,900
ポイント引当金繰入額	△ 2,483
施設維持管理費	3,257,250
減価償却費	2,018,118
賃借料	2,058,363
水道光熱費	4,159,969
保険料	697,700
委託料	13,070,516
研修採用費	1,224,691
調査研究費	184,287
会議費	918,835
諸会費	1,839,096
租税公課	66,011
通信交通費	1,971,340
雑費	113,646
事業連合委託費	9,798,000
物件費合計	56,665,231
事業経費合計	117,765,499

7 事業の種類ごとの損益の明細および事業別事業経費明細

事業は供給・利用事業のみのため事業の種類ごとの損益の明細および事業別事業経費明細は、損益計算書および事業経費明細と同じです。

8 キャッシュフロー計算書

自 2024年 3月 1日 至 2025年 2月 28日

間接法

(単位:円)

I 事業活動によるキャッシュ・フロー	
税引前当期剰余金 (+)	△ 5,449,037
減価償却費 (+)	2,018,118
貸倒引当金の増加 (+)・減少 (-) 額	△ 456,900
賞与引当金の増加 (+)・減少 (-) 額	122,205
退職給付引当金の増加 (+)・減少 (-) 額	△ 61,000
役員退職給付引当金の増加 (+)・減少 (-) 額	324,300
受取利息及び受取配当金 (-)	△ 92,860
固定資産除却損 (+)	1
供給債権の増加 (-)・減少 (+) 額	△ 3,259,704
棚卸資産の増加 (-)・減少 (+) 額	22,467,026
前渡金の増加 (-)・減少 (+) 額	52,698,920
その他流動資産の増加 (-)・減少 (+) 額	98,123
仕入債務の増加 (+)・減少 (-) 額	△ 5,902,909
未払消費税等の増加 (+)・減少 (-) 額	△ 4,984,700
未払金・未払費用の増加 (+)・減少 (-) 額	140,981
前受金・預り金等の増加 (+)・減少 (-) 額	7,890,654
ポイント引当金の増加 (+)・減少 (-) 額	△ 2,483
小 計	65,550,735
利息及び配当金の受取額 (+)	92,860
法人税等の支払額 (-)	△ 2,645,400
事業活動によるキャッシュ・フロー	62,998,195
II 投資活動によるキャッシュ・フロー	
固定資産の増加 (-)・減少 (+) 額	△ 2,905,977
関係団体等出資金の出資 (-)・減資・脱退 (+) 額	△ 6,750,000
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 9,655,977
III 財務活動によるキャッシュ・フロー	
出資金仮受金の増加 (+)・減少 (-) 額	△ 260,000
組合員出資金の増加 (+)・減少 (-) 額	15,000
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 245,000
IV 現金及び現金同等物の増減額	53,097,218
V 現金及び現金同等物の期首残高	46,263,196
VI 現金及び現金同等物の期末残高	99,360,414

(注) 現金及び現金同等物の範囲

項目	期首	期末
現金及び預金	46,263,196	99,360,414
預入期間が3か月を超える定期預金	0	0
現金及び現金同等物	46,263,196	99,360,414

9 その他の決算関係書類の内容を補足する重要な事項

(1) 主要な資産の内容

① 現金預金の明細

(単位:円)

科 目	内 訳	期首残高	期末残高	当期増減額
現金預金	現 金	2,019,119	1,565,929	△ 453,190
	当 座 預 金	6,701,829	32,278,075	25,576,246
	普 通 預 金	37,542,248	65,516,410	27,974,162
	定 期 預 金	0	0	0

	小 計	46,263,196	99,360,414	53,097,218
	合 計	46,263,196	99,360,414	53,097,218

② 供給未収金の明細

(i) 内訳 (単位:円)

内 訳	金 額
供給未収金	281,683
研究者未収金	4,733,607
クレジット等未収金	1,769,021
電子マネー未収金	1,363,000
ECサイト未収金	29,016,526
合 計	37,163,837

(ii) 回収状況 (単位:円)

内 訳	期首残高	当期発生高	当期回収高	期末残高	回収率
供給未収金	382,682	2,784,132	2,885,131	281,683	91.1%
研究者未収金	3,115,235	46,293,614	44,675,242	4,733,607	90.4%
クレジット等未収金	798,376	26,739,007	25,768,362	1,769,021	93.6%
電子マネー未収金	1,435,000	27,087,000	27,159,000	1,363,000	95.2%
ECサイト未収金	27,635,238	140,054,818	138,673,530	29,016,526	82.7%
大学生協ローン	537,602	4,848,350	5,385,952	0	100.0%

$$\text{回収率} = \frac{\text{当期回収高}}{\text{期首残高} + \text{当期発生高}} \times 100$$

③ 商品および貯蔵品の明細

(単位:円)

科 目	内 訳	金 額
商品	一般商品 (物販)	34,356,351
	サービス	0
	書籍	1,278,943
	食材	414,015
	合 計	36,049,309
貯蔵品	景品用図書カード	7,500
	合 計	7,500

④ 立替金の明細

(単位:円)

相 手 先	内 訳	期首残高	期末残高	当期増減額
日本コープ共済生活協同組合連合会	共済解約返戻金	8420	27,760	△ 19,340
	合 計	8420	27,760	△ 19,340

⑤ 未収金の明細

(単位:円)

相 手 先	内 訳	期首残高	期末残高	当期増減額
大学生協事業連合	提携店手数料等	479,845	110,302	369,543
大学生協事業連合	Web加入未収金	9,154,750	9,407,830	△ 253,080
日本図書販売	図書券・図書カード	1,000	0	1,000
	合 計	9,635,595	9,518,132	117,463

⑥ その他の流動資産の明細

(単位:円)

科 目	内 訳	期首残高	期末残高	当期増減額
前渡金		117,613,287	64,914,367	52,698,920

⑦ 電話加入権の明細

(単位:円)

設 置 場 所	内 訳	期首残高	期末残高	当期増減額
生協本部	052-799-1190	37,800	37,800	0
生協本部	052-799-1196	37,800	37,800	0
LilyNorth	052-799-1253	30,800	30,800	0
LilyShop	052-799-1257	30,800	30,800	0
合 計		137,200	137,200	0

⑧ 長期前払費用の明細

該当する事項はありません。

⑨ 差入保証金の明細

(単位:円)

差 入 先	内 訳	金 額
名古屋法務局	旅行業営業保証金	3,000,000
日本図書普及(株)	図書券取扱加盟金	20,000
日本図書普及(株)	図書ターミナル機保証金	30,000
(株)JTB	予約端末営業保証金	500,000
合 計		3,550,000

⑩ その他固定資産の明細

該当する事項はありません。

(2) 主要な負債の内容

① 買掛金の明細

(単位:円)

相 手 先	金 額
大学生協事業連合	14,683,585
金城学院諸口	402,373
金城学購買仮伝	5,720,357
その他	25,402
合 計	20,831,717

② 未払金の明細

該当する事項はありません。

③ 未払法人税等の明細

(単位:円)

内 訳	金 額
法人県民税	52,500
法人市民税	130,000
合 計	182,500

④ 未払消費税等の明細

(単位:円)

内 訳	金 額
未払消費税	2, 129, 300
合 計	2, 129, 300

④ 未払費用の明細

(単位:円)

相 手 先	内 訳	金 額
職員	2025年2月給与	581, 539
定時職員	2025年2月給与	1, 810, 113
社会保険料	2025年2月給与分	286, 076
大学生協事業連合	システム委託料等	519, 365
その他	2月经費	1, 224, 162
合 計		4, 421, 255

⑤ 前受金の明細

(単位:円)

相 手 先	内 訳	金 額
組合員	レンタル袴予約金他	16, 947, 018
組合員	電子マネーチャージ	16, 645, 850
組合員	食堂パス前受金	26, 068, 315
組合員	物品予約金	297, 500
新入生	入学前電子マネー	12, 600, 000
新入生	看護電子教科書等	6, 201, 394
合 計		78, 760, 077

⑥ 預り金の明細

(単位:円)

内 訳	金 額
学生生活110番預り金	834, 210
食堂パス預り金	14, 256, 000
未返還預かり出資金	7, 200, 000
その他	1, 500
合 計	22, 291, 710

⑦ 仮受金の明細

(単位:円)

内 訳	金 額
202〇年度新入生出資金	9, 560, 000
合 計	9, 560, 000

(3) 比較貸借対照表および比較損益計算書

比較貸借対照表

(2025年 2月 28日 現在)

金城学院大学生生活協同組合

(単位：円)

科目	2023年度	2024年度	科目	2023年度	2024年度
(資産の部)			(負債の部)		
I. 流動資産	264,528,166	246,077,919	I. 流動負債	149,123,794	143,664,642
現金預金	46,263,196	99,360,414	買掛金	26,734,626	20,831,717
供給未収金	33,904,133	37,163,837	未払法人税等	2,645,400	182,500
商品及び原材料	58,515,835	36,049,309	未払消費税等	7,114,000	2,129,300
貯蔵品	8,000	7,500	未払費用	4,280,274	4,421,255
前渡金	117,613,287	64,914,367	前受金	84,620,600	78,760,077
立替金	8,420	27,760	預り金	12,845,061	26,596,238
未収金	9,635,595	9,518,132	賞与引当金	476,125	598,330
貸倒引当金 (短期)	△ 1,420,300	△ 963,400	ポイント引当金	587,708	585,225
II. 固定資産	18,815,025	26,452,883	仮受金	9,820,000	9,560,000
1. 有形固定資産	2,922,825	3,810,683	II. 固定負債	11,995,345	12,258,645
建物及び附属設備	1,829,213	1,829,213	退職給付引当金	1,655,000	1,594,000
同減価償却累計額	△ 773,480	△ 897,192	役員退職給与引当金	10,340,345	10,664,645
	1,055,733	932,021	負債合計	161,119,139	155,923,287
機械装置	5,012,500	5,012,500	(純資産の部)		
同減価償却累計額	△ 5,012,494	△ 5,012,494	I. 組合員資本	122,224,052	116,607,515
	6	6	1. 出資金	94,115,000	94,130,000
器具備品	12,246,110	14,883,977	出資金	94,115,000	94,130,000
同減価償却累計額	△ 10,379,024	△ 12,005,321	2. 剰余金	28,109,052	22,477,515
	1,867,086	2,878,656	法定準備金	19,230,000	19,230,000
2. 無形固定資産	137,200	137,200	任意積立金	9,400,000	3,800,000
電話加入権	137,200	137,200	当期末処分剰余金	△ 520,948	△ 552,485
3. その他固定資産	15,755,000	22,505,000	(うち当期剰余金)	(△ 2,190,440)	(△ 5,631,537)
関係団体出資金	12,205,000	18,955,000			
差入保証金	3,550,000	3,550,000	純資産合計	122,224,052	116,607,515
資産合計	283,343,191	272,530,802	負債・純資産合計	283,343,191	272,530,802

比較損益計算書

金城学院大学生活協同組合

(単位：円)

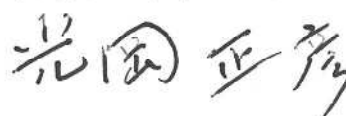
科目	2023年度実績	2024年度予算	2024年度実績	対前年増減額	対予算差異額
供給高	466,629,736	484,430,000	485,756,729	19,126,993	1,326,729
供給値引	6,451,380	6,760,000	7,904,073	1,452,693	1,144,073
純供給高	460,178,356	477,670,000	477,852,656	17,674,300	182,656
期首商品棚卸高	77,268,595		58,515,835	△ 18,752,760	
仕入高	359,191,683		367,809,648	8,617,965	
期末商品棚卸高	58,515,835		36,049,309	△ 22,466,526	
供給剰余金	82,233,913	88,334,000	87,576,482	5,342,569	△ 757,518
共済受託手数料収入	9,203,455	9,200,000	8,740,934	△ 462,521	△ 459,066
教育文化事業収入	0	245,000	0	0	△ 245,000
供給事業手数料収入	69,901	0	117,880	47,979	117,880
その他手数料収入	13,901,245	14,440,000	12,329,306	△ 1,571,939	△ 2,110,694
事業総剰余金	105,408,514	112,219,000	108,764,602	3,356,088	△ 3,454,398
役員報酬	7,367,056	7,677,000	7,689,100	322,044	12,100
職員給与	9,074,453	8,993,000	9,329,367	254,914	336,367
定時職員給与	35,131,224	37,962,000	37,551,307	2,420,083	△ 410,693
退職給付費用	439,000	864,000	349,000	△ 90,000	△ 515,000
法定福利費	3,989,579	4,018,000	4,125,395	135,816	107,395
厚生費	1,166,223	576,000	1,118,469	△ 47,754	542,469
役員退職給与引当金繰入額	287,700	0	324,300	36,600	324,300
賞与引当金繰入額	476,125	220,000	598,330	122,205	378,330
派遣人件費	0	0	15,000	15,000	15,000
人件費	57,931,360	60,310,000	61,100,268	3,168,908	790,268
教育文化費	416,135	500,000	549,906	133,771	49,906
広報費	7,226,106	8,217,000	5,900,329	△ 1,325,777	△ 2,316,671
消耗品費	4,618,386	4,611,000	6,675,546	2,057,160	2,064,546
物流費	1,460,128	2,001,000	2,451,068	990,940	450,068
車両運搬費	153,137	35,000	169,943	16,806	134,943
貸倒引当金繰入額	359,500	600,000	△ 456,900	△ 816,400	△ 1,056,900
ポイント引当金繰入額	194,847	300,000	△ 2,483	△ 197,330	△ 302,483
施設維持管理費	2,365,480	2,402,000	3,257,250	891,770	855,250
減価償却費	1,245,596	2,400,000	2,018,118	772,522	△ 381,882
賃借料	2,093,327	1,940,000	2,058,363	△ 34,964	118,363
水道光熱費	3,579,903	3,535,000	4,159,969	580,066	624,969
保険料	656,080	670,000	697,700	41,620	27,700
委託料	11,822,589	12,692,000	13,070,516	1,247,927	378,516
研修採用費	914,588	1,015,000	1,224,691	310,103	209,691
調査研究費	325,972	314,000	184,287	△ 141,685	△ 129,713
会議費	457,596	440,000	918,835	461,239	478,835
諸会費	1,706,730	1,876,000	1,839,096	132,366	△ 36,904
渉外費	87,200	0	0	△ 87,200	0
租税公課	139,250	172,000	66,011	△ 73,239	△ 105,989
通信交通費	2,021,410	1,313,000	1,971,340	△ 50,070	658,340
雑費	129,630	100,000	113,646	△ 15,984	13,646
事業連合委託費	8,162,637	9,249,000	9,798,000	1,635,363	549,000
物件費	50,136,227	54,382,000	56,665,231	6,529,004	2,283,231
事業経費	108,067,587	114,692,000	117,765,499	9,697,912	3,073,499
事業剰余金	△ 2,659,073	△ 2,473,000	△ 9,000,897	△ 6,341,824	△ 6,527,897
受取利息	92,150	0	89,666	△ 2,484	89,666
受取配当金	0	0	3,194	3,194	3,194
雑収入	195,069	0	133,493	△ 61,576	133,493
出資金整理益	3,080,000	3,000,000	3,560,000	480,000	560,000
事業外収益	3,367,219	3,000,000	3,786,353	419,134	786,353
雑損失	253,165	0	234,492	△ 18,673	234,492
事業外費用	253,165	0	234,492	△ 18,673	234,492
経常剰余金	454,981	527,000	△ 5,449,036	△ 5,904,017	△ 5,976,036
特別損失	0		1	1	
税引前当期剰余金	454,981	527,000	△ 5,449,037	△ 5,904,018	△ 5,976,037
法人税等	2,645,421		182,500	△ 2,462,921	
当期剰余金	△ 2,190,440	527,000	△ 5,631,537	△ 3,441,097	△ 6,158,537
当期首繰越剰余金	1,669,492		79,052	△ 1,590,440	
目的積立金取崩額	0		5,000,000	5,000,000	
当期末処分剰余金	△ 520,948	527,000	△ 552,485	△ 31,537	△ 1,079,485

会 計 指 導 書

金城学院大学生生活協同組合
監事会 御中

作 成 日 令和 7 年 4 月 1 日
事務所所在地 名古屋市中区錦一丁目 20 番 25 号
広小路 YMD ビル 8 階

事 務 所 名 公認会計士 光岡 正彦 事務所
公 認 会 計 士



電 話 (052) 209-7582 番

私は、金城学院大学生生活協同組合の令和 6 年 3 月 1 日から令和 7 年 2 月 28 日までの事業年度にかかる決算関係書類、すなわち、貸借対照表、損益計算書、決算関係書類に関する注記、損失処理案について会計指導を実施した。この決算関係書類の作成責任は理事者にあり、私の責任は独立の立場から決算関係書類に対する会計指導を行うことにある。

私は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して会計指導を行った。

会計指導は概ね会計監査の基準に従い、決算関係書類に重要な虚偽の表示がないかどうかの検討を行った。会計指導は、試査を基礎として行われ、理事者が採用した会計方針及びその適用方法並びに理事者によって行われた見積りの評価も含め全体としての決算関係書類の表示を検討することを含んでいる。

この結果、貴組合の採用する会計処理の原則及び手続は、概ね一般に公正妥当と認められる会計の基準に準拠し、かつ前事業年度と同一の基準に従い継続して適用されており、また、決算関係書類の用語、様式等の形式的事項は「消費生活協同組合法施行規則」に準拠しているものと認めた。

よって、私は、上記の決算関係書類は貴組合の会計期間に関する有用な会計情報を表示しているものと認める。

貴組合と私との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以 上

監 査 報 告 書

私たち監事は、2024年3月1日から2025年2月28日までの事業年度の理事の職務の執行を監査いたしました。その方法及び結果につき以下のとおり報告いたします。

1 監査の方法及びその内容

監事会は、監査の方針、職務の分担等を定め、各監事から監査の実施状況及び結果について報告を受けるほか、理事等からその職務の執行状況について報告を受け、必要に応じて説明を求めました。

各監事は、監事会の定めた監査の基準に準拠して、他の監事と意思疎通および情報交換を図るほか、監査方針、職務の分担等に従い、理事、内部監査部門等その他の職員等と意思疎通を図り、情報の収集及び監査の環境の整備に努めるとともに、理事会その他重要な会議に出席し、理事及び職員等からその職務の執行状況について報告を受け、必要に応じて説明を求め、重要な決裁書類等を閲覧し、本部及び主要な事業所において業務及び財産の状況を調査いたしました。また、理事の職務の執行が法令及び定款に適合することを確保するための体制その他組合業務の適正を確保するために必要な体制の整備に関する理事会決議の内容及び当該決議に基づいて整備されている体制の構築・運用の状況について定期的に報告を受け、必要に応じて説明を求めました。

以上に基づき、当該事業年度に係る事業報告書及びその附属明細書について検討いたしました。

さらに、会計帳簿又はこれに関する資料の調査を行い、当該事業年度に係る決算関係書類（貸借対照表、損益計算書、剰余金処分案）及びその附属明細書について検討いたしました。

2 監査の結果

(1) 事業報告書等の監査結果

- ① 事業報告書及びその附属明細書は、法令及び定款に従い、組合の状況を正しく示しているものと認めます。
- ② 理事の職務の執行に関する不正の行為又は法令もしくは定款に違反する重大な事実は認められません。

(2) 決算関係書類（剰余金処分案を除く）及びその附属明細書の監査結果

決算関係書類（剰余金処分案を除く）及びその附属明細書は、組合の財産及び損益の状況をすべての重要な点において適正に表示しているものと認めます。

(3) 剰余金処分案の監査結果

剰余金処分案は法令及び定款に適合し、かつ、組合財産の状況その他の事情に照らして指摘すべき事項は認められません。

2025年4月22日

金城学院大学生活協同組合

監事 高橋 和文

監事 田中 宏樹

監事 清水 友彦

第2号議案

2025 年度事業計画及び予算決定の件

※本議案について、本旨に反しない範囲での字句の修正を理事会に一任願います。

第 2 号議案 2025 年度事業計画及び予算決定の件

1. 金城学院大学生協中期計画・ビジョンとアクションプラン

(1) 生協の 4 つのビジョン（中期目標）

- ① 2025 年度までに再び黒字化し、経営の安定を目指します。
- ② 「福利厚生」「学生支援」という生協の使命に立ち返り、組合員の「大学生活」と「学び」を支えます。
- ③ 大学と共に大学コミュニティの向上を目指し、大学との信頼関係、パートナーシップを確立します。
- ④ 組合員が参加し、助け合い、学び合う活動を作り、発展させていきます。

(2) 5 つのアクションプラン

- ① 組合員の参加と協同を生協運営の中心に位置づけ、基礎組織力の向上を図ります。
- ② 学生の勉学をデバイスの提供にとどまらず、新たな学び方の創造を進めるとともに、教員の教育・研究活動へのサポートを強化します。
- ③ 学生の成長とチャレンジへの機会を提供できるような事業開発を進めます。
- ④ 「食事業」を中心とした学生の日常生活のサポートを強化します。
- ⑤ 生協職員が新たな事業にチャレンジをできる体制づくりを進めます。

(3) 中期計画の経営目標より

- ・ 2023 年度は税引前当期剰余での黒字を計画します。そのためには事業剰余段階で 260 万円の赤字を目標に計画を作成します。
- ・ 2024 年度は事業剰余段階での収支均衡をめざします。
- ・ 2025 年度で純供給高 5 億円、事業剰余率 2%を実現します。

2. 2024 年度の成果と課題

(1) 2024 年度新入生の生協加入率は 97%まで伸長することができました。

- ・ 入学者が定員を 200 名以上割ってしまいました。生協加入者も前年比で 81 名減少しましたが、まめな督促を行った結果生協の加入率は 97%まで伸ばすことができました。
- ・ 一方で共済・保険は率・数ともに減る結果となりました。
- ・ 食堂パスは新入生の 4 割の申し込みがありました。上級生の継続者とあわせると 700 名以上の食堂パスホルダーとなり、食堂の供給増加につながっています。

(2) 勉学研究事業では、6 つの学部・学科・コースから機種推奨をいただくことができました。また金城生の先輩が講師となるパソコン講座も開催できました

- ・ 各学部・学科との協議を通じて、これまで推奨をいただいていた国際情報学部・看護学部・空間デザインコースのほか、アパレルコース・多元心理学科・食環境栄養学科からも推奨をいただくことができました。
- ・ ただ、入学者数が大きく減少したこともあり販売台数は 2023 年度を割ることになりましたが、

- シェアは伸ばすことができています。また、サポートパック Plus の付帯率も向上しています。
- ・ 2025 年度新入生向け機種選定では新たに英語英米文化学科からも推奨をいただくことができました。一方で他の学部・学科とは話を進めることができませんでした。
 - ・ パソコン講座は 156 名の申し込みがありました。今年はパソコン講座学生スタッフ「Lilyon」の誕生もあり、講師をはじめ講座内容の作成などを学生スタッフ中心で行うことができました。
 - ・ 校費の利用は昨年に引き続き低調となっています。ただ、10 月からは毎月 17 日を「トナー (17) の日」として、不要トナー回収を行いながら研究室訪問を行い、「御用聞き」を進めています。予算の削減などもあり全面回復は難しい状況ですが少しでも巻き返していけるような取り組みを進めています。
 - ・ 書籍は入学者の減少もあり前期教科書販売が低調でしたが、後期は購入率が低い講義担当の先生に購入の呼びかけをしていただくなどの工夫で販売を伸ばすことができました。
- (3) 学生の成長を支えるキャリア形成支援事業では海外体験への申し込みが大きく伸長しました。
- ・ 新入生向けの説明から「メルボルン異文化体験プログラム」の紹介を行った結果、7 件の申し込みがありました。また海外留学も増えています。
 - ・ 自動車学校は昨年同様新入生向け説明会から積極的に宣伝した効果で非常に好調に推移しています。
 - ・ はかまは昨年よりも合同展示会の開催を増やしましたが、学生の反応の鈍さもあり受付を減らす結果となっています。
- (4) 食堂はリリーウエストを中心に大きく伸長することができました。
- ・ 食堂全体(リリースタンド含む)の客数は前年比 15.1%増になっています。特にウエストは 24.1%の増加となっています。入学者数が減少したものの、W 地区学部は全体として人口が増えたことが要因です。
 - ・ 食堂は供給も好調です。値上げの影響もありますが、食堂パスホルダーが 700 名以上増えたこともあり客単価が伸長しています。2 店舗合わせたメニュー分類の供給は前年比 15.0%とほぼ客数増に比例し伸長になっています。
 - ・ 3 月には懇親会メニューの体験会を開催しました。その結果、昨年はほぼ発生しなかった懇親会の供給が 100 万円以上発生することができました。
- (5) パート職員中心の店舗・食堂運営が進んでいます。
- ・ ショップについては、セルフレジの導入・退職職員の補充をしなかったこともあり人件費は削減することができています。また、パン米飯分類の発注やまた店頭での宣伝などもパート職員が行うようになりました。
 - ・ 食堂についてはノースの人件費は削減できていますが、これは欠員が生じたことによるものです。食堂はノースが新しいスタッフへの入れ替えもあり今後業務の効率化などを進めていくこととなります。
- (6) 学生委員会を中心に事業への組合員参加が広がっています。
- ・ 新学期活動を通じて、1 年生 10 名を新たに学生委員に迎え、総勢 23 名の組織になることができました。
 - ・ 前期では井 1 グランプリ、たなばた抽選会など事業活動に関連した活動を行うことができました。

- た。10 月に開催した「びようフェス」では、コープあいち・北医療生協にも協力をいただき、自分の体のことや改善するための方法を考えることができる企画となりました。
- ・ また新学期活動でも学生委員会を中心に説明会や新歓冊子・企画の準備を進めています。学生委員会以外の学生もインタビューを行い新入生に伝える情報の制度を上げることも行っています。

3. 2025 年度金城学院大学生協方針

(1) 大学・生協を取り巻く情勢

- ・ 引き続き食料品、物流費用の高騰が続いています。人件費も 2024 年時給で 50 円引き上げられましたが 2025 年も同様以上の引き上げが予想されます。また所得税の控除額を増額する議論が行われておりこの決着次第では働き方も変わる可能性があります。
- ・ 2025 年度新入生よりノートパソコンの必携化が始まります。そして 2026 年度には学部改組とカリキュラム改革も検討されており、大学の教育・学修スタイルが大きく変化する 1 年になります。

(2) 方針の基調：中期計画 3 年目（最終年）でめざすもの

- ① 組織基盤を強化したすけあいの輪を広げ、生協への組合員への参加を広げます。
- ② 2026 年度の改組に向けて、大学・各学部の教学方針への貢献を進めます。
- ③ 各学部の学びに適したデバイスの提供とサポートを通じて、大学のパソコン必携化への対応を進めます。
- ④ 学生の学び支援事業を強化します。
- ⑤ 食堂・購買での食事提供の強化を進め、食事シェアの拡大を図ります。
- ⑥ 運営の効率化を図り、事業経費の削減を図ります。

(3) 方針の具体化

- ① 組織基盤を強化したすけあいの輪を広げ、生協への組合員への参加を広げます。
 - ・ 金城生の生活を支える「インフラ」として生協への加入を呼びかけます。学部生 100%の加入を目指します。また教職員の加入実態を調査し、新入教職員だけでなく未加入の方へのよびかけを強化します。
 - ・ 学生委員会活動の質的拡大をすすめます。新学期活動だけでなく、日常的にショップや食堂を通じての活動をすすめます。
 - ・ この間停滞している声カードのとりくみを再開します。総代会などを通じた店舗・食堂への組合員の意見を反映される場を設け、こうしたとりくみを通じて組合員の意見を生協の運営に活かす活動の強化を行います。
 - ・ 日常的な共済活動の展開を進めます。学生委員会とともに「共済ボード」の作成を行い「金城生のための共済の重要性」を知らせるとともに、「びようフェス」などの企画を通して様々な場面でのたすけあいの輪を広げることにつなげます。
- ② 各学部の学びに適したデバイスの提供とサポートを通じて、大学のパソコン必携化並びに 2026 年度学部改組への対応を進めます。
 - ・ 新学部はもちろん、すべての学部・学科の教務委員の先生方と協議を行い、それぞれの学部・学科の学びにふさわしいデバイスの提供とサポートの実施を行います。

- ・ パソコン講座は上級生スタッフによる自身の経験を後輩に伝える金城生同士で学び合う講座づくりを進めます。また各部の学びに即した対応ができることも目指していきます。
 - ・ 2025 年度新入生より、iPad 購入者には活用講座を実施します。このことを通じて iPad を活用した新しい学修スタイルの普及をすすめます。
 - ・ 校費利用については、引き続き「トナーの日」のトナー回収などを通じた研究室訪問・御用聞きのとりの取り組みをすすめます。
- ③ 学生の学び支援事業を強化します。
- ・ 自動車学校は、2024 年度同様新入生を中心に春プランへの集客を強めます。学内相談会の開催、ダイレクトメールやメール配信での宣伝の強化により、年間 370 件を目標に進めます。
 - ・ 旅行事業については、語学留学・異文化体験企画を中心に展開します。昨年 7 名が参加した「メルボルン異文化体験ツアー」は 2024 年度の経験を活かし参加者の倍増を目指します。
 - ・ 卒業衣装レンタルについて、2026 年 3 月卒（現 3 年生）対象に 4 月から複数回合同展示会を中心とした学内展示会を実施し集客をすすめます。全体として 350 件の成約をめざします。
- ④ 食堂・購買での食事提供の強化を進め、食事シェアの拡大を図ります。
- ・ 2025 年度の食堂パスは回数券方式で申し込みがしやすいものになりました。2025 年度新入生シェアを 5 割、上級生の継続率を 5 割を目指し、800 名のホルダー数を目指します。
 - ・ 食堂のメニュー価格の値上げが避けられない情勢です。メニューの充実に加え提供のクオリティやスピードなどの向上を引き続き進め、利用者の満足度を高めていきます。
 - ・ 混雑緩和を大学とも協力しすすめます。具体的にはウエストの増席のお願い、席取り防止や譲り合いのための告知（声かけ含む）を行います。
 - ・ 多くの金城生に利用していただけるメニューの開発を、組合員の参加で進めます。
 - ・ 購買で食堂パス対象商品の内製弁当とサラダなどの利用増加をすすめ、食堂の混雑緩和と利用者の拡大につなげます。
 - ・ 現在受注している大規模学会の懇親会を成功させるとともに、引き続き学内懇親会利用の促進を図ります。
- ⑤ 運営の効率化を図り、事業経費の削減を図ります。
- ・ 引き続きパートスタッフ中心の店舗運営を進めるとともに、運営の効率化を図り稼働時間のコントロールを行います。
 - ・ 秋以降、全国の大学生協で AI を活用した自動発注システム（HDSR）を導入します。食品分類を中心に活用することで発注に充てていた時間をお店作りで充てられるようにします。
 - ・ 外注していた作業を内製化するなどで経費の削減をすすめます。

4. 予算について

(1) 分類別供給予算（単位千円）

	2025年予算	2024年実績	2019年	2024年差	2024年比	2019年差	2019年比
文具	10,000	10,764	16,002	-764	92.9%	-6,002	62.5%
情報機器	110,000	105,458	108,199	4,542	104.3%	1,801	101.7%
P Cソフト	18,200	8,608	6,157	9,592	211.4%	12,043	295.6%
衣料スポーツ	7,900	8,360	2,527	-460	94.5%	5,373	312.6%
AV家具家電	2,148	2,174	3,475	-26	98.8%	-1,327	61.8%
日用雑貨	1,910	1,447	3,182	463	132.0%	-1,272	60.0%
食品・菓子	7,798	8,567	9,980	-769	91.0%	-2,182	78.1%
パン・米飯	9,372	10,144	27,849	-772	92.4%	-18,477	33.7%
飲料・デザート	11,244	11,938	21,870	-694	94.2%	-10,626	51.4%
写真・印刷	2,100	908	2,325	1,192	231.3%	-225	90.3%
物販その他	2,380	1,941	3,723	439	122.6%	-1,343	63.9%
ブリベイドギフト	0	1,140	1,573	-1,140	0.0%	-1,573	0.0%
酒医薬品	0	13	11	-13	0.0%	-11	0.0%
物販その他軽減	766	1,083	594	-317	70.7%	172	129.0%
自動車教習所	109,934	105,068	117,505	4,866	104.6%	-7,571	93.6%
海外旅行	8,000	11,958	27,425	-3,958	66.9%	-19,425	29.2%
国内旅行	0	425	7,369	-425	0.0%	-7,369	0.0%
SV内外	21,000	19,754	22,601	1,246	106.3%	-1,601	92.9%
SV内内	0	318	860	-318	0.0%	-860	0.0%
電子書籍	27,311	14,667	38	12,644	186.2%	27,273	71871.1%
図書カード	0	303	430	-303	0.0%	-430	0.0%
非課税書籍	0	208	0	-208	0.0%	0	#DIV/0!
スタディガイド	0	3,208	4,990	-3,208	0.0%	-4,990	0.0%
自主講座	19,000	3,635	774	15,365	522.7%	18,226	2454.8%
書籍	46,750	66,666	79,916	-19,916	70.1%	-33,166	58.5%
メニュー	78,442	79,738	48,181	-1,296	98.4%	30,261	162.8%
テイクアウト	7,394	7,318	66	76	101.0%	7,328	11203.0%
合計	501,649	485,811	517,622	15,838	103.3%	-15,973	96.9%

- ・ 供給高は 5 億 164 万円（2024 年比 3.3%増）で計画します。
- ・ 情報機器は新入生向け PC のシェア 50%越えを実現します。
- ・ 入学者の減少、校費予算の減少を踏まえて、食堂利用含めた食事利用、文具・書籍については前年マイナスで計画します。
- ・ 自動車学校は約 4%増で計画します。
- ・ はかまは 2024 年度受付分での予算となります。2025 年 3 月卒業生は 400 人の受付を目指しま

す。

(2) 損益予算（単位千円）

全体	2025予算	2024年	24年差	2019	19年差
純供給高	492,849	477,852	14,997	507,072	-14,223
事業総剰余	107,991	108,764	-773	112,162	-4,171
事業総剰余率	21.9%	22.8%	-0.8%	22.1%	-0.6%
人件費	60,722	61,100	-378	58,004	2,718
物件費	55,587	56,665	-1,078	56,014	-427
費用計	116,309	117,765	-1,456	114,018	2,291
事業剰余	-8,318	-9,001	683	-1,856	-6,462

本部	2025予算	2024年	24年差	2019	19年差
純供給高	-8,700	-7,427	-1,273	0	-8,700
事業総剰余	3,930	4,855	-925	9,313	-5,383
事業総剰余率	-45.2%	-65.4%	20.2%	#DIV/0!	#DIV/0!
人件費	25,170	26,485	-1,315	24,449	721
物件費	34,545	32,523	2,022	28,715	5,830
費用計	59,715	59,008	707	53,164	6,551
事業剰余	-55,785	-54,153	-1,632	-43,851	-11,934

ショップ	2025予算	2024年	24年差	2019	19年差
純供給高	418,602	400,428	18,174	457,097	-38,495
事業総剰余	60,148	64,034	-3,886	75,823	-15,675
事業総剰余率	14.4%	16.0%	-1.6%	16.6%	0.6%
人件費	12,926	11,934	992	14,647	-1,721
物件費	11,900	14,126	-2,226	19,513	-7,613
費用計	24,826	26,060	-1,234	34,160	-9,334
事業剰余	35,322	37,974	-2,652	41,663	-6,341

食堂計	2025予算	2024年	24年差	2019	19年差
純供給高	82,947	84,851	-1,904	49,975	32,972
事業総剰余	43,913	39,875	4,038	27,026	16,887
事業総剰余率	52.9%	47.0%	5.9%	54.1%	7.1%
人件費	22,626	22,681	-55	18,908	3,718
物件費	9,142	10,016	-874	7,786	1,356
費用計	31,768	32,697	-929	26,694	5,074
事業剰余	12,145	7,178	4,967	332	11,813

ノース	2025予算	2024年	24年差	2019	19年差
純供給高	46,327	47,058	-731	47,222	-895
事業総剰余	25,752	23,304	2,448	25,395	357
事業総剰余率	55.6%	49.5%	6.1%	53.8%	4.3%
人件費	13,093	12,640	453	16,501	-3,408
物件費	4,271	4,851	-580	7,021	-2,750
費用計	17,364	17,491	-127	23,522	-6,158
事業剰余	8,388	5,813	2,575	1,873	6,515

ウエスト	2025予算	2024年	24年差	2019	19年差
純供給高	36,620	37,793	-1,173	2,753	33,867
事業総剰余	18,161	16,571	1,590	1,631	16,530
事業総剰余率	49.6%	43.8%	5.7%	59.2%	15.4%
人件費	9,533	10,041	-508	2,407	7,126
物件費	4,871	5,165	-294	765	4,106
費用計	14,404	15,206	-802	3,172	11,232
事業剰余	3,757	1,365	2,392	-1,541	5,298

- ・ 供給剰余（供給から仕入れを引いたもの）及び手数料収入（共済手数料・パソコンサポート料等）をあわせた事業総剰余は1億799万円（剰余率21.9%）で計画します。
- ・ 定時職員給与は稼働時間は今年度並みとし、10月以降の改定分を5%アップで計画します。人件費全体で6,072万円（労働分配率56%）とします。
- ・ 物件費は大学生協事業連合の経営再建に係る物流費、システム関連費用などの増加、郵送費用や水道光熱費の引き続きの高騰もあり大きな削減ができず前年比145万円減の5,558万円で計画します。
- ・ 事業経営の結果を示す事業剰余は831万円の赤字での計画となります。過年度卒業生の出資金整理益を含めた経常剰余も531万円の赤字で計画します。
- ・ 2年連続の大幅な定員割れもあり客数の増加が見込めない中、費用負担を削ることができないこともありこのような計画となりました。2025年度は経費執行の厳格化を図るとともに、一人当たり利用高の増大をすすめていきます。

第3号議案 監事監査規則一部改正の件

以下の通り監事監査規則を一部改正します。

1. 改正の内容

新	旧
(全員同意事項) 第12条 次に掲げる事項の決定は、監事全員の同意を得なければならない。 (1)理事の責任の一部免除に関する議案を総代会に提出することに対する同意 (2)組合員による<u>理事</u>(理事であった者を含む、3号及び4号において同じ)の責任を追及する訴えにおいて、組合が被告理事側に補助参加することに対する同意 (3)組合員による<u>理事</u>の責任を追及する訴えにおいて、裁判所から通知された和解内容の承認 (4) <u>組合による理事の責任を追及する訴えにおいて、裁判所から通知された和解内容の承認</u> (5)各監事の報酬	(全員同意事項) 第12条 次に掲げる事項の決定は、監事全員の同意を得なければならない。 (1)理事の責任の一部免除に関する議案を総代会に提出することに対する同意 (2)組合員による<u>役員</u>の責任を追及する訴えにおいて、組合が被告理事側に補助参加することに対する同意 (3)組合員による<u>役員</u>の責任を追及する訴えにおいて、裁判所から通知された和解内容の承認 (4)各監事の報酬
(施行期日) 1 この規定は、組合の成立の日から実施する。 平成20年5月30日一部改定 平成29年5月 日改訂施行する 令和5年5月23日一部改定 <u>令和7年5月27日一部改訂</u>	(施行期日) 1 この規定は、組合の成立の日から実施する。 平成20年5月30日一部改定 平成29年5月 日改訂施行する 令和5年5月23日一部改定

2. 改正の理由

第12条は、監事会において監事全員の同意によって決定すべき事項を列挙していますが、生協が提起した理事・元理事の責任追及訴訟で和解をする場合の手続きに関する規定（生協法第31条の8）が設けられたことを受けて第4号を新設します。

理事・元理事と組合の間の訴訟については監事が組合を代表しますが、その訴訟で和解が成立した場合、和解の効力が組合に及ぶため、同一案件に関して別の監事が別の訴訟で争うことはできなくなります。そうした問題を生じないようにするため、和解にあたっては監事全員の同意が必要とされました。第4号の新設に伴い、関係する号の条文の修正・追記と繰り下げをしています。

※ なお本議案について、本旨に反しない範囲での字句の修正を理事会に一任願います。

第4号議案 役員報酬決定の件

役員の年間報酬（2024年6月～2026年5月）について、下記の総額の範囲で理事会が定める役員報酬規則に基づいて支給すること、及び各役員の報酬額・支給方法については理事会の協議に委ねることを決定いたします。なお、理事（16名）の報酬は前年の総代会で議決した金額と同額、監事（3名）は無報酬とします。

役員報酬額

- | | |
|----------------|-------------|
| (1) 理事（16名）の報酬 | 総額 900 万円以内 |
| (2) 監事（3名）の報酬 | 0 円 |

※ なお本議案について、本旨に反しない範囲での字句の修正を理事会に一任願います。

役員選挙

生協の役員（理事・監事）の任期は1年ですので、総代会において選挙を行います。
候補者は定数内（理事16名、監事3名）のため信任投票となります。